

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
[http://www.city.ikeda.
osaka.jp/](http://www.city.ikeda.osaka.jp/)

いけだ

No.149

いけだ市議会だより

平成28年(2016年)8月1日



古江保育所にて

5月臨時会 …… 2

正副議長あいさつ

各委員会委員一覧 …… 3

6月定例会 …… 4

意見書 …… 5

議決結果 …… 5

一般質問 …… 6

委員会レポート …… 11

議会日誌 …… 12

やまばと …… 12



5

月臨時会



臨時会は、5月18日に開会し、まず、市長から報告案件3件、議案1件、並びに人事案件2件が提出され、いずれも承認・可決・同意しました。その後、議長・副議長はじめ各委員会の委員等を選任し、閉会しました。なお、議長・副議長、各委員会の委員については、掲載のとおりです。

就任の挨拶

市民の皆様には平素から市政並びに市議会に対し温かいご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

このたび私たちは、5月の臨時市議会におきまして、第75代の議長・副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、市民の皆様の信頼に応えるべく、全力を挙げて頑張つてまいる所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

さて、4月14日以降、相次いで発生しました熊本地震は、熊本県や大分県を中心とした九州地方に甚大な被害をもたらしました。被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに被災地の一日も早い復興を心からお祈りいたします。あわせて、今回の地震



副議長
浜地 慎一郎



議長
馬坂 哲平

を受け、近い将来発生が予想される南海トラフ地震をはじめ、自然災害に対する備えの大切さを改めて痛感したところでございます。

また、我が国の経済に目を向けますと、デフレ脱却・景気回復への歩みを確かなものにするため、賃金の引き上げやマイナスインス金利の導入など消費の喚起等を推進しているものの、国民生活にまでその影響が十分に及んでいるとは言えない現状であります。

本市におきましては、市税収入の低迷や社会保障関係費の増大により、依然として厳しい財政状況が続くものと見込まれています。このような中、私たち市議会といたしましても昨年5月から議員定数の削減、さらに本年4月からは政務活動費の減額を断行するなど経費削減に努めており、一歩一歩着実に改革を続けていくことが肝要であると考えております。

これまで同様、市民の皆様の側に軸足を置き、議決機関としての権能を最大限に発揮しながら、安全・安心に暮らせるまちづくりを誠心誠意努力してまいります。どうか今後とも、市民の皆様方のより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

議会選出の監査委員に 藤原 美知子議員

今回、議会選出の監査委員に、藤原美知子議員を選任しました。監査委員とは、地方自治法に基づき、市やその関係団体の予算執行や事務処理が正確に行われているかどうかを監視するのが主な仕事です。

本会議・委員会を 傍聴しましょう

本会議・委員会は誰でも傍聴できます。本会議は、市役所4階傍聴席入口で住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。本会議を傍聴される方への手話通訳も行っておりますので、ご希望の方は、事前(概ね5日前まで)に議会事務局まで申し込んでください。委員会は、傍聴席の関係で5人まで傍聴できます。なお、5人を超えた時は、別室で音声を聞くことができます。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

常任委員会

◎委員長 ○副委員長 ()所属会派 議席順

総務委員会

定数 6



◎山田 正司
(市民クラブ)



○倉田 晃
(自由クラブ)



小林 吉三
(日本共産党)



◎富田 裕樹
(大阪維新の会池田)



○荒木 眞澄
(公明党)



○小林 義典
(自民同友会)

文教病院委員会

定数 6



◎前田 敏
(民社クラブ)



○石田 隆史
(大阪維新の会池田)



○羽田 達也
(無所属)



○三宅 正起
(市民クラブ)



○白石 啓子
(日本共産党)



○木下 克重
(自民同友会)

厚生委員会

定数 5



◎多田 隆一
(公明党)



○中田 正紀
(市民クラブ)



○浜地 慎一郎
(自民同友会)



○藤原 美知子
(日本共産党)



○渡邊 千芳
(市民クラブ)

土木消防委員会

定数 5



◎細井 馨
(自民同友会)



○西垣 智
(自由クラブ)



○内藤 勝
(民社クラブ)



○川西 二郎
(市民クラブ)



○馬坂 哲平
(公明党)

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

定数	委員長	副委員長	委員	委員	委員
6	◎馬坂 哲平	○西垣 智	○浜地慎一郎	多田 隆一	藤原美知子 山田 正司

特別委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

委員会名	定数	委員長	副委員長	委員	委員
空港・交通問題調査特別委員会	7	◎川西 二郎	○西垣 智	羽田 達也	多田 隆一
まちづくり防災特別委員会	6	◎渡邊 千芳	○富田 裕樹	三宅 正起	白石 啓子
市議会だより編集特別委員会	7	◎荒木 眞澄	○小林 義典	小林 吉三	倉田 晃

6月定例会

6月定例会は、6月3日に開会し、市長から報告案件3件と議案11件並びに人事案件3件が提出され、本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも承認・可決・同意しました。

6月22日・23日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、14人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案1件を審議し、原案どおり可決し、6月定例会を閉会しました。

一般会計繰越明許費 繰越計算書の報告

昨年12月と本年3月の定例会において可決し、予算措置された、国の「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」に伴い創設された、地方創生加速化交付金を活用した事業などの予算を本年度に繰り越したことが報告されました。

繰り越した事業としては、伏見台地域の創生事業のほか、NPOと連携した教育相談等支援事業、テーマパーク構想の推進事業、小学校の耐震補強事業などが含まれます。

※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのあるものについて、議会の議決を得て、翌年度に使用することができる経費のことです。

福祉、教育などに関する 6つの基本条例を可決

行政の各分野において、まちづくりの方向性を明確にすることを目的に、本定例会では6つの基本条例案が提出されました。

まず、福祉の分野では、福祉のまちづくりについての基本理念等を定めた「池田市支え合いを大切

にする福祉のまち基本条例」について審議しました。

審議の中では、対象者を社会的弱者に特化せず、市民全体の福祉向上をつたうべきである。また、市民福祉の向上は地域の自主的な協力を委ねることなく、市自らが積極的に展開すべきである。との反対意見がありました。地域と行政が支援の必要な市民を協働して支え合う地域包括ケアシステム構築のための理念条例となっている。また、増え続ける社会保障費に対応するために欠かせない地域福祉推進の理念をつたったものであり、評価できる。との賛成多数をもって可決しました。

また、教育の分野では、「教育日本一のまち池田」を実現するための基本理念等を定めた「豊かな心、確かな学力及び健やかな身体を育み、世界に羽ばたく子どもを育てる教育日本一のまち池田条例」について審議しました。

審議の中では、本条例は教育のあり方に深く介入するものである。教育目標は学校が決めるべきであり、市や教育委員会が定めてその達成を求めるなど上意下達であり、教育の独立性、自主性を侵害するものである。また、保護者や地域の団体等の責務は押しつけになる。との反対意見がありました。が、い

じめ防止対策推進法においても規定されているように、保護者の責務として子どもに正しい教育を行うことは保護者の務めであり、保護者との連携・協力について条例にうたうことは大変重要なことである。との賛成多数をもって可決しました。

その他、商業の分野では商業の振興に関する基本理念等を定めた「池田市商業振興条例」について、スポーツの分野ではスポーツの振興に関する基本理念等を定めた「池田市スポーツ振興条例」について、文化の分野では文化振興に関する基本理念や基本施策等を定めた「池田市文化振興条例」について、環境の分野では環境の保全と創造に関する基本理念や施策の基本的事項等を定めた「池田市環境基本条例」について、それぞれ審議し、いずれも全会一致で可決しました。

本年3月の定例会で可決しました財政の分野、安全・安心の分野の基本条例に、本定例会で可決しました6つの基本条例を加え、合計8つの基本条例が整備されました。

熊本地震復旧支援寄付 1500万円追加予算を可決

熊本地震で甚大な被害を受けた熊本の復旧を支援するため、ふるさと納税制度を活用し募集した寄付金を、熊本市へ送るための一般会計補正予算が追加議案として提出されました。

審議の中では、寄付金の使途を熊本の復旧支援に限定した理由や9月末まで募集する寄付金の取り扱いなどについて質疑がありましたが、全会一致で可決しました。また、私たち池田市議会といたしましても、30万円の義援金を送りました。一日も早い復興を心からお祈り申しあげます。

意見書

6月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○熊本地震による被災者支援、復旧・復興をいっそう強めるよう求める意見書

○市長提出議案及び議決の結果（5月臨時会・6月定例会）

議案名	議決の結果
専決事項の指定に係る処分報告について 専決指定第1号 損害賠償の専決処分について	報告
処分報告について 専決第1号 池田市市税条例の一部改正について	承認 (全員異議なし)
処分報告について 専決第2号 平成27年度池田市一般会計補正予算(第11号)	承認 (全員異議なし)
池田市立秦野小学校北校舎改築工事請負契約の締結について	原案可決 (全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同意 (全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同意 (全員異議なし)
処分報告について 専決第3号 平成28年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	承認 (全員異議なし)
平成27年度池田市公共下水道事業会計予算繰越計算書について	報告
平成27年度池田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
池田市支え合いを大切にする福祉のまち基本条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
池田市保育所等設置認可等審議会条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市商業振興条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)

議案名	議決の結果
豊かな心、確かな学力及び健やかな身体を育み、世界に羽ばたく子どもを育てる教育日本一のまち池田条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
池田市スポーツ振興条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市文化振興条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市文化財保護条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市環境基本条例の制定について	原案可決 (全員異議なし)
池田市保健福祉総合センター条例の一部改正について	原案可決 (賛成多数)
池田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 (全員異議なし)
財産区管理委員の選任について	同意 (全員異議なし)
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同意 (全員異議なし)
平成28年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決 (賛成多数)
平成28年度池田市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (賛成多数)
平成28年度池田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全員異議なし)

○議会提出議案及び議決の結果（5月臨時会）

議案名	議決の結果
議長辞職の許可について	許可 (全員異議なし)
議長の選挙について	終結
副議長辞職の許可について	許可 (全員異議なし)
副議長の選挙について	終結
議会運営委員会委員の選任について	選任 (全員異議なし)
常任委員会委員の選任について	選任 (全員異議なし)

議案名	議決の結果
常任委員会委員長の選任について	選任 (全員異議なし)
常任委員会副委員長の選任について	選任 (全員異議なし)
大阪府都市競艇企業団議会議員の選挙について	終結
特別委員会委員の選任について	選任 (全員異議なし)
特別委員会委員長の選任について	選任 (全員異議なし)
特別委員会副委員長の選任について	選任 (全員異議なし)



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などを質問するもので、定例会に限って行います。今回は14人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをたしました。主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

**地域防災計画と
現実対応について**

(民社クラブ)

問 発災に伴い市役所が使用不能、道路網が寸断、医療・介護・耐震化済施設が被災した場合や避難行動要支援者への対応は。

また、「災害時健康危機管理チーム」の設置の検討について問う。

**関係機関・団体と
連携強化を図る**

答 防災拠点等の耐震化や代替施設の選定など関係機関とも連携し業務継続可能な方策を検討する。要支援者対策は「地域避難支援協議会」を設置し、地域団体と連携し、名簿情報等の適切管理に努める。また、チーム設置は想定せず、避難所での健康管理や病院機能維持管理など本市単独で体制構築。

**南海トラフ大地震の
対策準備は**

(大阪維新の会池田)

問 南海トラフ大地震の発生が危惧されている。市民の命と安全を守るために、更に危機意識の共有と対策を強化しなければならぬと考えるが、現在の対策状況は。

**地域防災計画の
見直しを遂行中**

答 府内自治体と府で協議を行い、備蓄物資の目標量や各種マニュアルの見直しなどを実施している。平成27年度においても、南海トラフ大地震の被害想定を元に訓練を実施した。

**AEDの
コンビニ設置について**

(自由クラブ)

問 コンビニと24時間持ち出し可能なAED設置協定を結ぶ考えはないか。

設置に向けて要請する

答 今後、住民票等のコンビニ交付に向け調整を予定しているが、AED設置についても要請する。

**共同利用施設
市民の声を生かして**

(日本共産党)

問 旭丘会館など共同利用施設の再編は、住民の納得と話し合いの中で進めるべき。会館はお祭りの道員置き場や行事のための調理の場、子ども会等の行事の場として多様な使われ方をし、また交通の便など地域的な事情もある。

地域でのコミュニティの活性化には拠点となる施設が重要である。利用率だけ見ず、市民の声を十分反映させ時間をかけて進めるべき。

**再編への取り組み
丁寧に進める**

答 再編については、説明会で様々な意見を聞き、地域の事情・設置の経緯等の認識を深めている。再編の取り組みは丁寧に進めたい。

**地域分権制度
10年間の効果検証は**

(市民クラブ)

問 地域分権制度10年目の節目において取り組みや現状、また検証するための方策は。

地域分権検討会議を設置

答 今年度、市民意識調査を実施。また、東京大学名誉教授である神野直彦氏を会長に迎え、地域分権検討会議を立ち上げ効果検証する。

**戦略的な観光地域づくり
について**

(大阪維新の会池田)

問 観光庁が地域の観光課題に積極的に取り組む法人、日本版DMOの確立を提唱している。関係者の連携強化と各省庁からの支援も期待できるため、本市も同様の法人を設立または、既設法人にその役割を持たせてはどうか。



一般質問議員

今回一般質問を行った議員は、次のとおりです。

1	小林吉三	(日本共産党)
2	西垣智	(自由クラブ)
3	荒木真澄	(公明党)
4	中田正紀	(市民クラブ)
5	倉田晃	(自由クラブ)
6	三宅正起	(市民クラブ)
7	前田敏	(民社クラブ)
8	小林義典	(自民同友会)
9	富田裕樹	(大阪維新の会池田)
10	白石啓子	(日本共産党)
11	細井馨	(自民同友会)
12	藤原美知子	(日本共産党)
13	石田隆史	(大阪維新の会池田)
14	内藤勝	(民社クラブ)

(※質問順)

既存の組織で実現可能

答 本市においては、「いけだ街あるき観光施設等担当者会議」を設置し、連携した観光PRをしている。今後も当会議を通じて経済波及効果を目的とした観光事業を実施していく。

北貨物地区遊休地の活用について

(自由クラブ)

問 北貨物地区遊休地については、平成25年に官舎跡地とあわせて物流拠点として活用することを本市から提案されたようだが、その後

の経過は。

有効活用に向けて協議を進める

答 大阪国際空港については第6次池田市総合計画において「都市核」として位置づけられており、雇いや賑わいを生み出せるような一体的な利活用に向け、新関西空会社等と協議を進めてきたところ。今後は、新たに大阪国際空港の運営権者となった関西エアポート株式会社とも、土地のポテンシャルを最大限活用できるよう、協議を進めていきたい。

少子化対策若者に安定した雇用を

(日本共産党)

問 統計でも多数の若者が結婚・子育てを希望している。希望をかなえるうえで、安心して結婚できる安定した雇用対策を。非正規職員の正規職員への切り替えを。

若者の安定した雇用対策に努める

答 就労相談・支援を行い、就職説明会やセミナーを周知。非正規職員の待遇改善を行った。正規職員化は業務内容を精査し、行革プランと照らし合わせ進めていく。

ふるさと納税制度の活用について

(自由クラブ)

問 ふるさと納税制度を活用した寄付金収入増に向けた具体的な取り組みは。

謝礼品と使途の両面から取り組む

答 謝礼品の金額の幅を広げ、内容、種類の充実に取り組むとともに、本来の趣旨である、寄付の使いみちについても充実させ「寄付謝礼品」「使いみち」の両面から寄付の増収に取り組む。

中学校給食異物混入問題は

(市民クラブ)

問 平成26年度より始まった中学校給食の異物混入問題の現状は。

再発防止に向けて必要な対応を

答 本年度は4件の報告があった。委託業者には随時指導を行い、必要に応じて体制の見直しを求める。

ほそごう学園を義務教育学校に

(市民クラブ)

問 平成28年4月、義務教育学校が全国で22校誕生した。ほそごう学園への制度導入について問う。

特色づくりの有効な手段の一つ

答 「教育日本一のみち池田」にふさわしい教育充実のためにも、義務教育学校化は有効な手段の一つと考える。今後は、学校運営に外部人材が参画する「コミュニティ・スクール」の制度導入等も含め、積極的に検討する。

「教育日本一」への 取り組みは

(市民クラブ)

問 「教育日本一」に対する具体的な取り組みは。

今年度3つの新規事業

答 小中学校指導者派遣事業、地域学習教室事業、幼稚園通級指導教室開設事業をスタート。

少人数学級の拡充で 豊かな教育を

(日本共産党)

問 子どもの貧困対策の柱として教育支援が大切である。「教育日本一」をすすめるために来年度から新たに教育予算5千万円を上積みすること。どの子にも行き届いた教育が出来るよう、小中学校すべて少人数学級にするよう、計画的な取り組みを求めます。

施策の一環として 取り組みたい

答 少人数学級編制によるきめ細かな指導の充実や、学習支援で教育的効果があると認識している。教育のまち池田として、必要な教育施策として総合的に取り組む。

35人学級を 小中学校全学年へ

(日本共産党)

問 誰もがその効果を認めている少人数学級は、子どもの悩みやトラブルの対応、学習を豊かにする上でも重要であり、「教育日本一」をめざすなら35人学級を小中学校全学年に拡充すべきではないか。

効果的に必要な施策を検討

答 35人学級の必要性や教育的効果は従前より認識している。来年度より35人学級も含めて総合的に教育施策を考えていきたい。

観光振興 日本遺産の認定について

(市民クラブ)

問 日本遺産に認定される基準とは。

審査委員会を経て 文化庁が認定

答 わが国の魅力を十分に伝えるものかなどの基準に基づき、審査委員会の審査を経て文化庁が認定。

スポーツセンターの 設備充実

(自由クラブ)

問 小学生対象の高さ調整式バスケットボールリングの設置は。

財政状況に鑑み検討

答 財政状況に鑑み、今後の耐震改修工事もしくは建てかえの中で検討する。

市立池田病院の 今後のあり方は

(大阪維新の会池田)

問 年間10億円以上も一般会計から繰り入れている市立池田病院の経営改善は、池田市政の最も重要な課題である。具体的改善策や経営目標、また、現在の進捗状況は。

中期経営計画の 見直しを検討

答 病棟再編も含めた中期経営計画の見直しを検討し、本年度末までに策定する「新公立病院改革ガイドライン」に基づいた計画において、今後の具体的な方向性を示していく予定。経営の健全化は不可欠であると認識。単年度での黒字化を目標として更なる経営健全化を進めていく。

ヘルプマークの 普及・啓発活動を

(公明党)

問 援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方々のために、ヘルプマークの普及・啓発活動をすべきでは。

有用な手段と認識 今後検討を行う

答 現在、ヘルプカードを作成し実施準備をしているところであるが、ヘルプマークも有用な手段と認識しており、今後検討を行う。

認知症カフェの 広報活動について

(大阪維新の会池田)

問 厚生労働省は、認知症の介護者の負担軽減策として「認知症カフェ」を提言している。これは、認知症について、一般市民へ周知を図るものだが、本市の広報体制は。

関係窓口で 開催チラシを掲示

答 認知症カフェについては、市役所や介護事業所、各包括支援センターの窓口で開催チラシを掲示し、相談者に周知を図っている。また主催団体も利用者や地元町会等に案内をしている。



こども食堂は市の制度で

(日本共産党)

問 こどもの貧困対策として、各地でこども食堂の取り組みが広がっている。本市でも子どもの居場所づくりの一環として開設補助金を計上した。また学校給食がない夏休み中に、学園食堂の計画があるとのこと。良い取り組みだと思うが、こども食堂とともに、市の制度としての取り組みを求める。

市の制度として 実施要綱をつくる

答 試行後、必要であれば拡充も考えたい。学園食堂はこども食堂の一環として支援していく。

子どもたちの 「食」への対策は

(市民クラブ)

問 「こども食堂」への支援も採決されたが、子どもたちの「食」の問題は喫緊の課題であり、色々な配慮が必要であると思われるが、

市の課題として認識し検討

答 学校の長期休業期間中における学校給食の補完的な役割を果たすことは重要である。欠食児童・生徒の食の確保を目的として検討。

ふくまる子ども券で 子育て支援を

(公明党)

問 配布時期及び利用範囲の拡大で、ハイリスク妊産婦や子育て中の方々に繋がる機会が増え、更なる子育て支援の充実となるのでは。

利用者や関係機関の 声を聞き検討

答 今後は、利用者の要望等を踏まえ、関係機関等と検討する。

病児保育実施について

(自民同友会)

問 病児保育実施についての見解を問う。また、近隣市における実施状況、実施に際してどのような問題点があると考えられるのか。

病児保育所の整備に向け 準備中

答 現在の病後児保育所を病児・病後児対応型保育所に整備する計画で本年12月から来年1月の開設に向けて準備中。また、府内では33市中16市で病児保育が実施されている。問題点は、指導医の選定など、医療機関との連携が必要で、相互感染がないよう衛生面、安全面に十分な配慮を行う必要があるため、安静室・トイレなど施設面の整備が必要となる。

フードバンク事業を 展開するべき

(公明党)

問 食品ロス削減に向けた取り組みとして、フードバンク事業やこども食堂との連携の可能性を問う。

有効な施策と認識

答 当事業は重要な社会福祉活動と認識。今後、国や周辺自治体等の取り組み状況をふまえ検討する。

ふくまるカーシェアリング 事業

(民社クラブ)

問 今年3月末で終了した本事業の評価と今後の新たな展開は。

全国初の車いす対応の 事業が開始

答 環境面での温暖化ガス削減効果を当初約6tと計画したが、平成27年度末では当初に比べ4倍の効果となった。今後、環境にやさしい交通手段の選択を促す環境学習に取り組みとともに、社会福祉協議会が車椅子対応の福祉車両カーシェア事業を8月から実施する。

栄町の公衆トイレ 存続を求める

(日本共産党)

問 公衆の利益のため一般に開放されている公衆トイレの役割は大きく、栄町のトイレは地元から存続の要望があるがどうするのか。

一定の利用があり 今は廃止しない

答 老朽化しているが一日約百人の利用があり現在は廃止予定なし。



コミュニティバスの導入について

(自民同友会)

問 調査や具体的な検討はされているのか。また、調査状況はどのようになっているのか問う。

近い将来運行できるよう取り組む

答 平成23年度頃に実施に向けて阪急電鉄や阪急バスの乗降客数等のデータ収集、道路幅員、停留所

運行可能な路線、問題点や実施方法など将来の可能性について検討していた。今後も近い将来運行することを前提に取り組んでいく。

管理公社検討委員会の審議内容は

(民社クラブ)

問 一般財団法人公共施設管理公社検討委員会が3回開催されているが審議内容について問う。

管理公社の予算の執行状況を審議

答 検討委員会において主に、管理公社の予算の執行状況や今後の市の補助金事業と指定管理事業の

在り方について審議。

池田駅南開発㈱の報道内容は

(民社クラブ)

問 新聞やテレビで駅南開発㈱の架空塗装工事疑惑が報じられた。私のところに「告発」と書かれたビラが送られてきた。その内容は、

前駅南開発㈱会長であり、倉田市長の事務所の事務局長を務められていた人のことなどいろいろと書かれている。この実態と内容について詳しく聞く。

聞き捨てならない内容告訴検討

答 ビラに書かれている内容は聞き捨てならない。第三者委員会で

解決できるものでない。名誉毀損で警察に告発する準備を進める。工事疑惑があたかも駅南開発㈱の問題のように言われているが、実際の当事者は管理組合法人であり、告発も含めて弁護士と相談すること。

池田駅南開発㈱不正疑惑の調査を

(日本共産党)

問 池田駅南開発㈱の管理費不正使用疑惑に対し真相究明を求める。

会社等が行う調査の推移を見守る

答 当事者は管理組合法人なので、それらの調査の推移を見守る。

神田地域の安全対策について

(自民同友会)

問 神田小学校南西から北豊島中学校南西の交差点までの神田地域における、中国自動車道下の側道の道路整備及び雑草や樹木の除去並びに神田橋と神田橋北交差点の間の東側歩道に、街路灯を新規設置できないのか問う。

大阪府に対して要望

答 雑草や樹木等が繁茂している状況や、交差点内の照度不足については認識しており、道路管理者である大阪府へ道路舗装・雑草や樹木の適正管理及び街路灯の設置を要望していく。

今井水路の整備について

(自由クラブ)

問 今後の今井水路の整備、改修の予定は。

ハード・ソフト両面から対応

答 大規模改修については、立地上困難であることから、豪雨時にかかる負荷の軽減措置や土のうの整備などハード・ソフト両面から対応していく。

住宅用火災警報器について

(自民同友会)

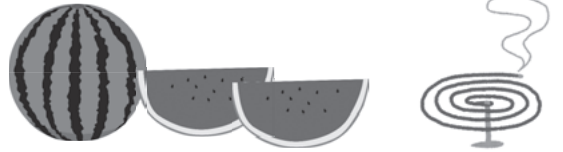
問 設置が義務付けられてから、様々な取り組みが行われたが、今後、設置率が100%に近づくように、更なる普及促進活動の推進に向けた取り組みについて問う。

HP等を活用し啓発

答 住宅用火災警報器の設置義務化より10年が経過するため、今後は設置率100%に加えて、既設の機器についての維持管理についても、春のフェスティバルなどの各イベントやHP・市広報誌を活用して啓発を行う。



委員会 レポート



6月定例会では、11件の議案を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

6月22日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された11件の議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

**証明書のコンビニ交付を
提案した理由は**

《一般会計補正予算》

問 今回、マイナンバーカードの利用による各種証明書のコンビニ交付に係るシステム構築費用等の補正予算を計上しているが、提案に至った理由について問う。

**市民の利便性向上と
マイナンバーカード普及促進**

答 市役所の閉庁時にも近くのコンビニで住民票などの交付が可能となり、市民の利便性が向上するとともに、マイナンバーカードの付加価値が高まり、カードの普及促進にもつながると考えたためである。

また、サービスの開始は来年の2月からと考えており、その準備調整に時間を要するため今回の提案となった。



文教病院委員会

「教育日本一」とは

《豊かな心、確かな学力及び健やかな身体を育み、世界に羽ばたく子どもを育てる教育日本一のまち池田条例の制定》

問 本条例は「教育日本一のまち池田」を実現するための基本理念を定めるものであるとのことだが、具体的に何をもって日本一とするのか問う。また、従来から掲げていた「教育のまち池田」に「日本一」を加えた理由について問う。

**全ての子どもたちに
日本一質の高い教育を**

答 「教育日本一」とは、学力向上のみをめざすものではなく、何か一つでも秀でたものをつくり上げていこうとするスローガンであり、気概と努力目標であると考えている。本条例でうたう理念を達成するため、就学前も含めた全ての子どもたちが、日本で一番質の高い教育を受けられるようにしていきたい。

また、めざす方向性を明確にすることにより市民にもわかりやすく、現場の教師を含めた関係者全員が自覚と責任感をもって取り組むことができることを「教育日本一のまち池田」を合言葉に設定した。

厚生委員会

**池田子ども食堂の開設趣旨や
今後の展望は**

《一般会計補正予算》

問 今回予算計上して開設支援補助を行う池田子ども食堂は、子どもへの貧困対策のために行われているというのが一般的であると認識しているが、子ども食堂の開設趣旨は何か。また、開催回数や今後の展望について問う。

**子どもの居場所づくりのため
今後は実態に即した工夫を**

答 池田子ども食堂は子どもの貧困対策に加えて、生活スタイルの多様化や世帯同居の減少に伴う孤立しがちな子どもたちの居場所づくりを主な目的として考えている。

開催回数については、各中学校区ごとに月4回の開催を目安に考えているが、今後の動向を見ながら実態に即した工夫を重ねていきたい。



土木消防委員会

環境基本条例制定の背景は

《環境基本条例の制定》

問 昭和53年7月に制定された池田市環境保全条例を大幅に見直し、新たに池田市環境基本条例として制定するに至った経緯と背景について問う。また、池田市環境保全条例と池田市環境基本条例の違いについて問う。

環境の概念や基本計画を明確化するため

答 昭和53年の環境保全条例の制定以降、社会が行政に対して地球温暖化問題に対する対応を強く求め始めたことを契機に、環境の概念と併せて環境基本計画や環境学習の位置づけも明確化するため、新たに環境基本条例を制定するに至った。

また、環境保全条例は環境問題に対する具体的な責務を明記し、規制等も設けているのに対して、環境基本条例は行政、市民、事業者のそれぞれの責務を明確化するとともに、包括的な理念を記したものである。

議会の予定

9月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

9月 5日(月)	本 会 議
9月12日(月)	委 員 会
9月13日(火)	委 員 会
9月14日(水)	委 員 会
9月20日(火)	委 員 会
9月28日(水)	本 会 議
9月29日(木)	本 会 議

議 会 日 誌

5月	6月	7月
5月16日	6月3日	7月13日
各派代表者会議 議会運営委員会	市議会定例会 市議会だより 編集特別委員会	市議会だより編集 特別委員会
5月18日	6月6日	7月14日
市議会臨時会	土木消防委員会 厚生委員会	空港・交通問題調査 特別委員会
各派代表者会議 議会運営委員会	6月9日	7月19日
各派代表者会議 議会運営委員会	6月10日	市議会だより編集 特別委員会
各派代表者会議 議会運営委員会	文教病院委員会	まちづくり防災 特別委員会
6月23日		
市議会定例会 議会運営委員会		
6月22日		
各派代表者会議 議会運営委員会		
6月13日		
総務委員会		

やまばと

市民の皆様、平素は池田市議会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。5月臨時会におきまして役員改選が行われ、正副議長をはじめ、常任委員会、特別委員会を含めた本年度の議会構成が決定いたしました。

市議会だより編集特別委員会においても今回から新メンバーとなり、心機一転、よりわかりやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

今後「いけた市議会だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願いいたします。



市議会だより編集特別委員会

委員長	荒木 眞澄	委員長	中田 正史
副委員長	小林 義典	委員	石田 隆
委員	小林 吉三	委員	前田 敏
委員	倉田 晃		